

令和元年度県政世論調査結果（概要）について

<調査の概要>

- | | |
|----------|------------------------|
| 1 調査対象 | 県内に居住する満18歳以上の男女2,000人 |
| 2 調査期間 | 令和元年8月～9月 |
| 3 調査方法 | 調査員による留置調査 |
| 4 回収数(率) | 1,548 (77.4%) |

5 調査項目

(1) 県政全般（政策の満足度調査、県政への要望調査）

(2) 個別施策に関する調査

新幹線の延伸について

新SDGsについて

新中山間地域の振興について

地方創生について

体力づくりについて

自転車の活用について

富山きときと空港の利用促進について

福祉施策の充実について

地産地消について

食品ロスの削減について

犯罪の予防について

(3) 意識調査

幸福度に関する設問

県民参考指標に関する設問

1 県政全般について

<政策の満足度について>

県の政策について、「満足」、「どちらかといえば満足」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば不満」、「不満」から1つ選択

○満足度の高い項目（上位10項目）

- ・『北陸新幹線の整備促進』が1位、『食の安全確保と地産地消・食育の推進』が2位となっている。
- ・『スポーツの振興』(9位→5位)、『雪に強いまちづくり』(18位→9位)、『富山のブランドカアアップ』(15位→10位)が順位を上げている。

順位	項目		%	前回H30 (参考)
1	北陸新幹線の整備促進	交流・物流	45.8	46.0 (1位)
2	食の安全確保と地産地消・食育の推進	健康・福祉	29.7	28.1 (3位)
3	水資源の保全と活用	環 境	27.6	30.2 (2位)
4	新幹線駅を核とした交流拠点づくり	交流・物流	25.3	24.5 (5位)
5	スポーツの振興	県民活動	24.7	23.9 (9位)
6	子育て支援	子育て・教育	23.6	24.6 (4位)
7	利便性の高い道路ネットワークの整備	交流・物流	23.6	24.4 (6位)
8	芸術文化の振興	県民活動	22.7	24.2 (7位)
9	雪に強いまちづくり	安全・安心	22.6	19.6 (18位)
10	富山のブランドカアアップ	まちづくり・観光	22.5	20.6 (15位)
10	医療提供体制の充実	安全・安心	22.5	24.0 (8位)

※『満足している』と『どちらかといえば満足している』を合わせた数値を指標としている。

○不満度の高い項目（上位10項目）

- ・例年同様、『中心市街地の賑わいの創出』が1位となり、『まちづくり・観光』や『産業』に係る項目が上位を占めている。
- ・昨年大きく順位を上げた『雪に強いまちづくり』が2位から6位に順位を下げている

順位	項目		%	前回H30 (参考)
1	中心市街地の賑わいの創出	まちづくり・観光	48.1	44.4 (1位)
2	快適で活力ある魅力的なまちづくりの推進	まちづくり・観光	38.0	36.3 (3位)
3	商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	産 業	37.8	35.0 (4位)
4	選ばれ続ける観光地づくり	まちづくり・観光	34.5	33.8 (5位)
5	雇用の確保と人材の育成	産 業	32.2	30.8 (6位)
6	雪に強いまちづくり	安全・安心	32.0	41.4 (2位)
7	新幹線駅を核とした交流拠点づくり	交流・物流	30.5	29.8 (7位)
8	生活交通の確保	安全・安心	28.9	29.2 (9位)
9	農山漁村の活性化	地域づくり	28.6	28.9 (12位)
10	オープンで分かりやすい県政	県政運営	28.4	28.9 (12位)

※『不満である』と『どちらかといえば不満である』を合わせた数値を指標としている。

< 県政への要望について >

県の政策のうち、もっと力を入れてほしいと思う政策を5つ以内で選択

- ・例年同様、雪対策、景気対策、高齢福祉、子育て支援、医療体制の関連項目が上位を占めている。
- ・『中心市街地の賑わいの創出』(11位→7位)、『快適で活力のある魅力的なまちづくりの推進』(18位→9位)が順位を上げている。

○要望の高い項目（上位10項目）

順位	項目		%	前回H30 (参考)
1	雪に強いまちづくり	安全・安心	22.7	29.6 (1位)
2	景気対策	産業	20.1	17.2 (2位)
3	高齢者福祉の充実	健康・福祉	16.5	14.5 (3位)
4	子育て支援	子育て・教育	15.3	14.0 (4位)
5	医療提供体制の充実	健康・福祉	14.4	11.7 (6位)
6	生活交通の確保	安全・安心	13.7	11.3 (7位)
7	中心市街地の賑わいの創出	まちづくり・観光	12.1	9.3 (11位)
8	防災・危機管理体制の充実	安全・安心	11.2	12.4 (5位)
9	快適で活力ある魅力的なまちづくりの推進	まちづくり・観光	10.8	7.8 (18位)
10	出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	子育て・教育	10.7	9.5 (10位)

【参考】過去調査結果（上位5項目）

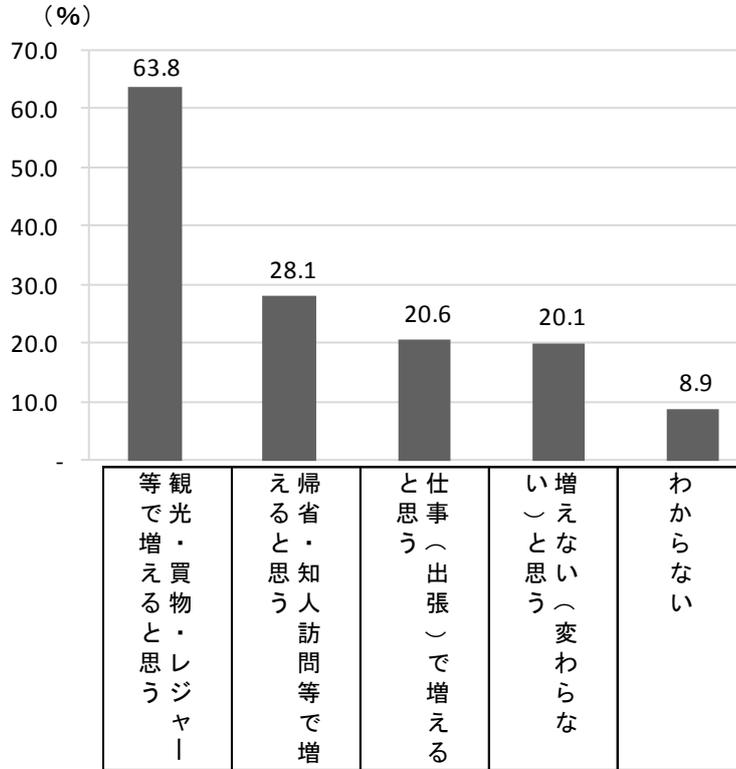
順位	要望調査 (%)				
	H27	H28	H29	H30	R01
1	景気対策 25.5	景気対策 25.2	景気対策 23.2	雪に強いまちづくり 29.6	雪に強いまちづくり 22.7
2	子育て支援 21.1	子育て支援 19.2	子育て支援 20.3	景気対策 17.2	景気対策 20.1
3	高齢者福祉の充実 17.7	高齢者福祉の充実 18.9	高齢者福祉の充実 17.9	高齢者福祉の充実 14.5	高齢者福祉の充実 16.5
4	雪に強いまちづくり 16.4	オープンでわかりやすい県政 16.4	医療提供体制の充実 15.7	子育て支援 14.0	子育て支援 15.3
5	医療提供体制の充実 14.3	雪に強いまちづくり 15.8	雪に強いまちづくり 14.5	防災・危機管理体制の充実 12.4	医療提供体制の充実 14.4

【個別施策について】

2 新 北陸新幹線の延伸について

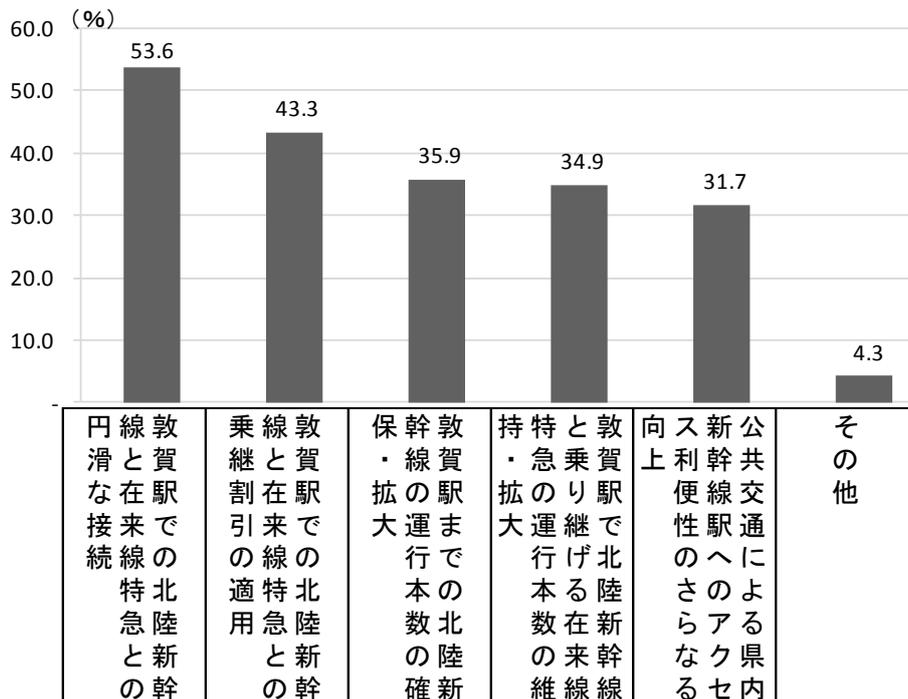
(1) 北陸新幹線の敦賀開業で、関西・中京圏への訪問機会が増えると思うかについて
(複数回答：いくつでも)

・『観光・買物・レジャー等で増えると思う』が6割を超え、突出している。



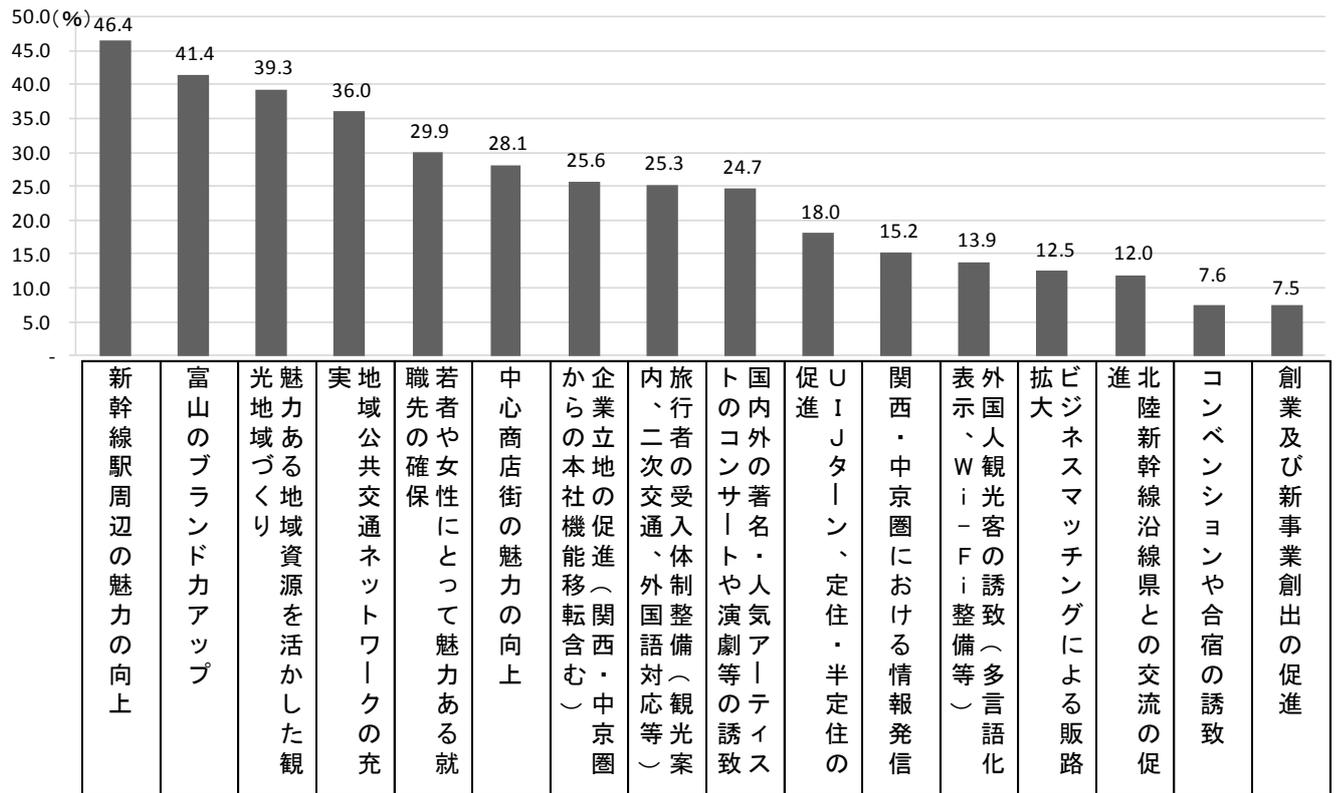
(2) 北陸新幹線がどのようになれば利用しやすくなると思うかについて
(複数回答：いくつでも)

・『在来線特急との円滑な接続』、『在来線特急との乗継割引の適用』が上位となっている。



(3) 延伸効果を最大限に引き出すために必要な施策は何かについて（複数回答：5つ以内）

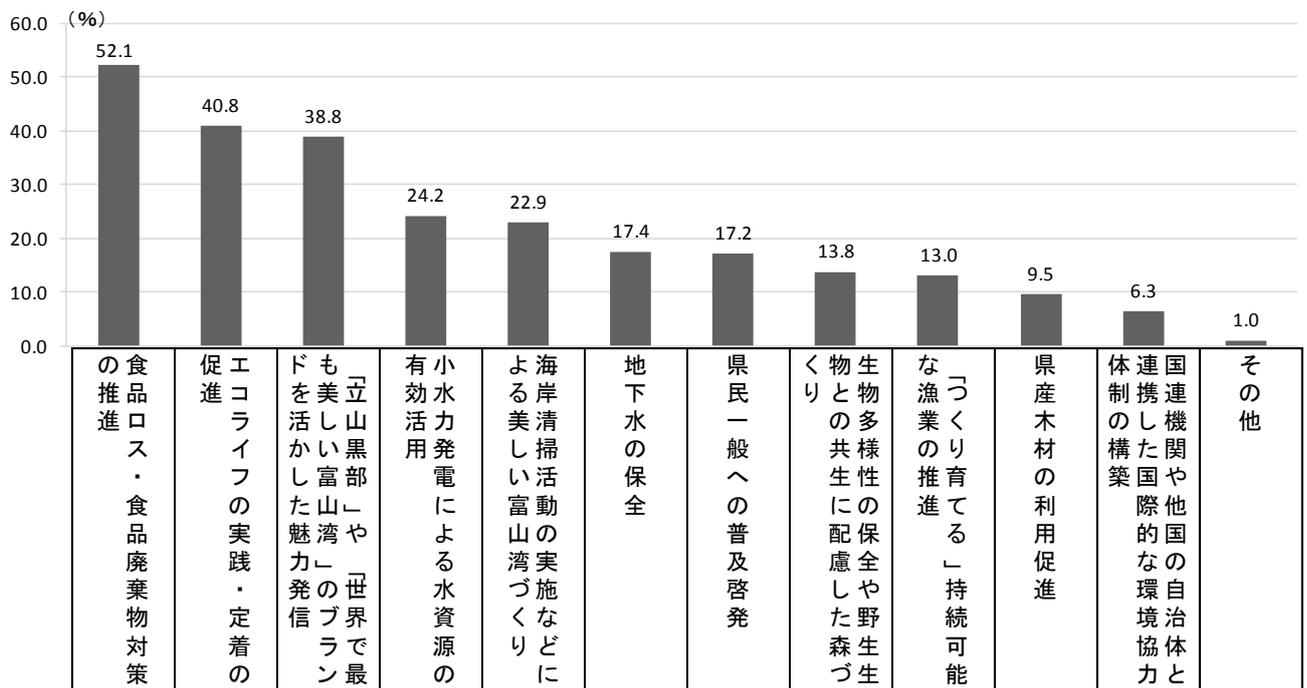
・『駅周辺の魅力向上』、『富山のブランドカアップ』、『魅力ある観光地域づくり』が上位となっている。



3 新SDGsについて

本事業の推進にあたり県が提案した施策のうち、特に重要と考えるものについて（複数回答：3つ以内）

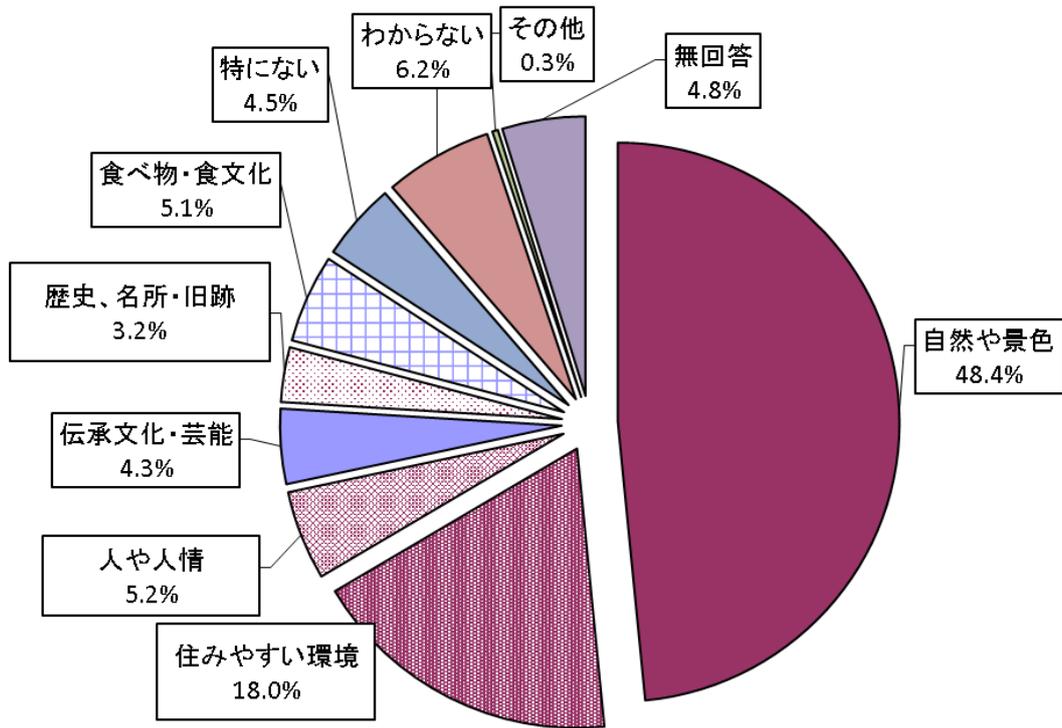
・『食品ロス・食品廃棄物対策の推進』、『エコライフの実践・定着』等の環境への取組みのほか、『立山黒部や富山湾の魅力発信』が上位となっている。



4 新 中山間地域の振興について

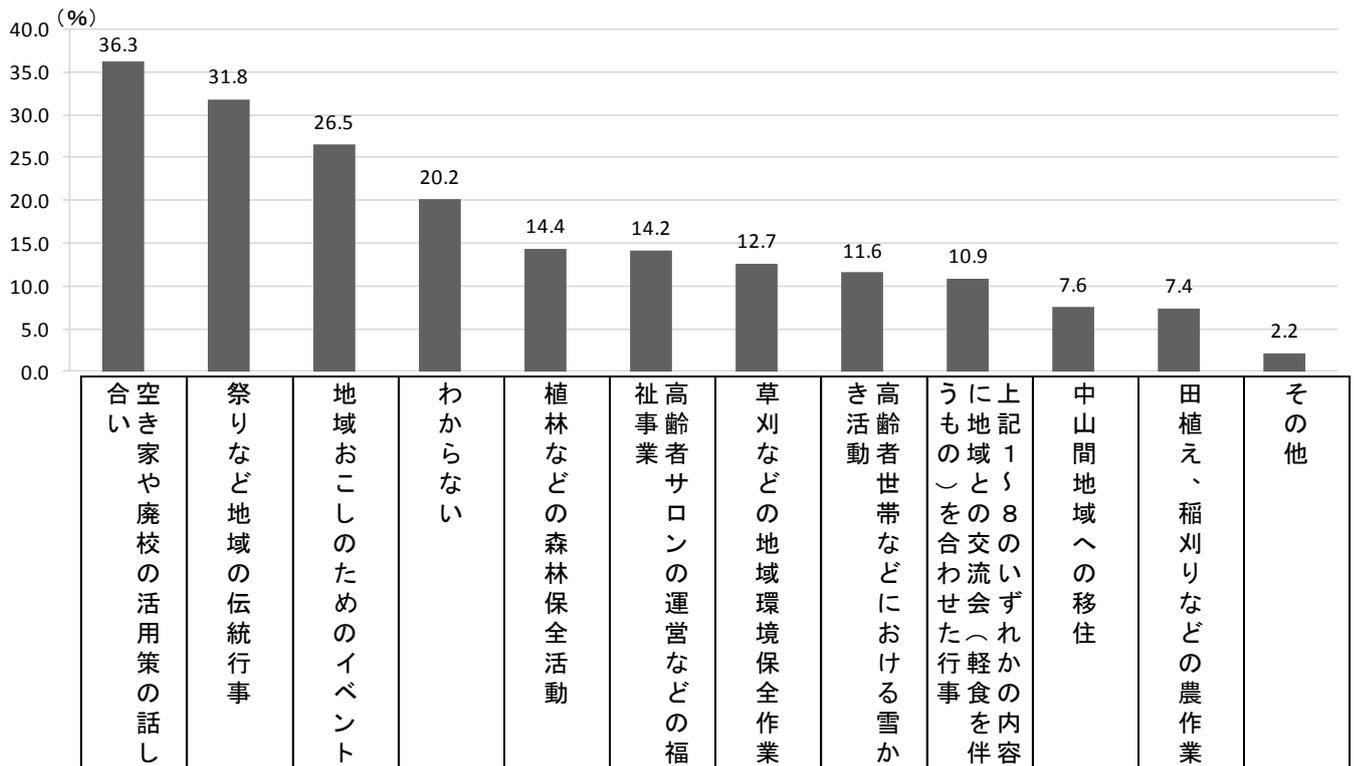
(1) 中山間地域の魅力は何だと思ふかについて (単一回答)

・『自然や景色』が約半数、『住みやすい環境』が約2割となっている。



(2) 中山間地域の活性化のために協力したい活動について (複数回答: 3つ以内)

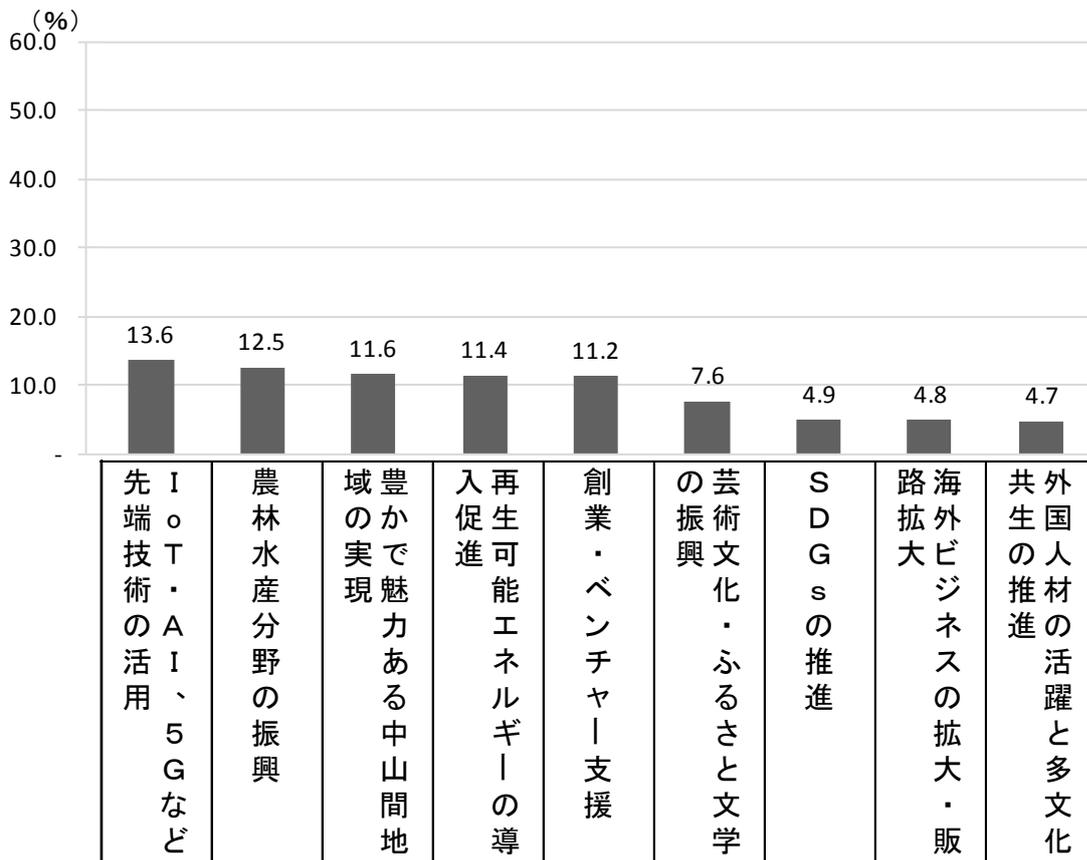
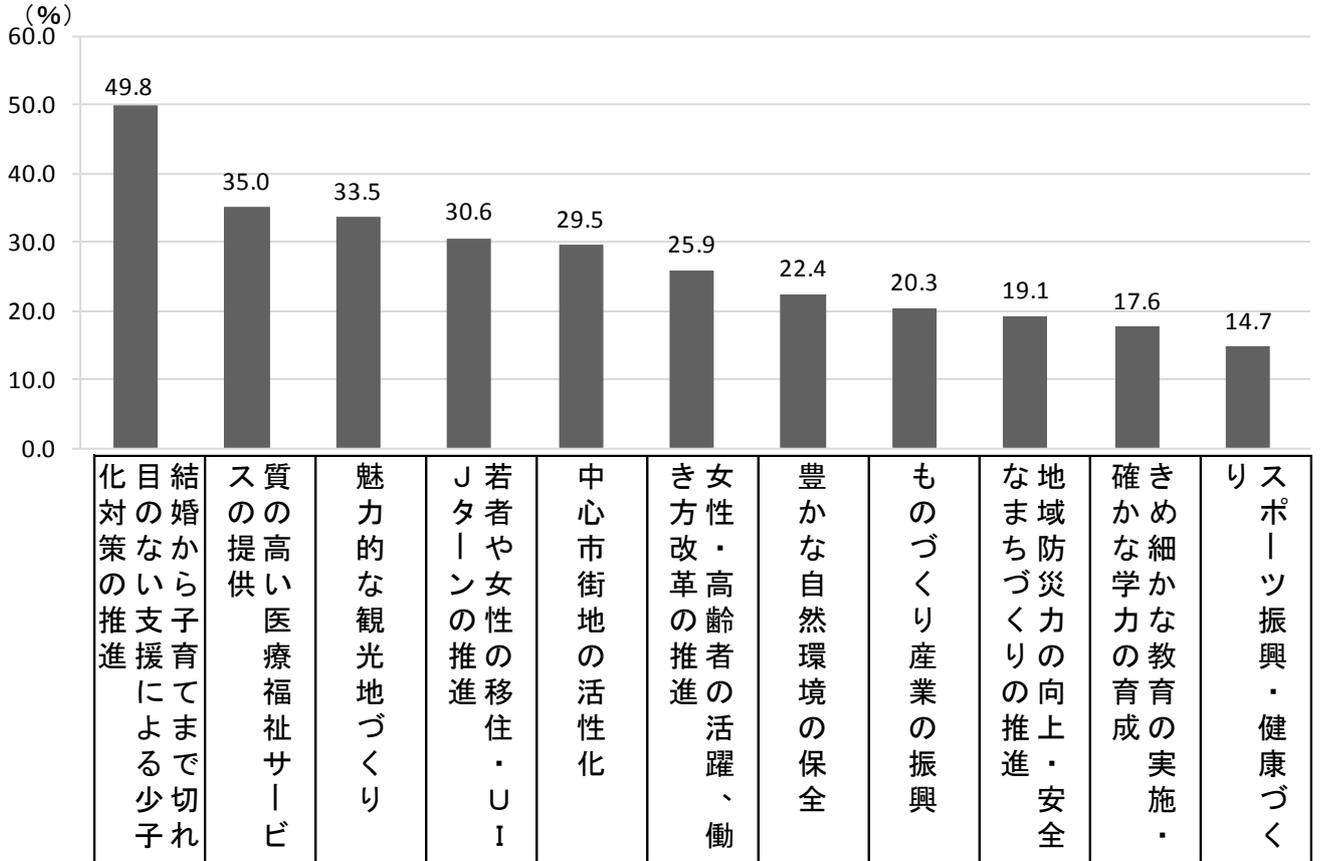
・『空き家や廃校の活用策の話し合い』、『祭りなど地域の伝統行事』、『地域おこしのためのイベント』が上位となっている。



5 地方創生について

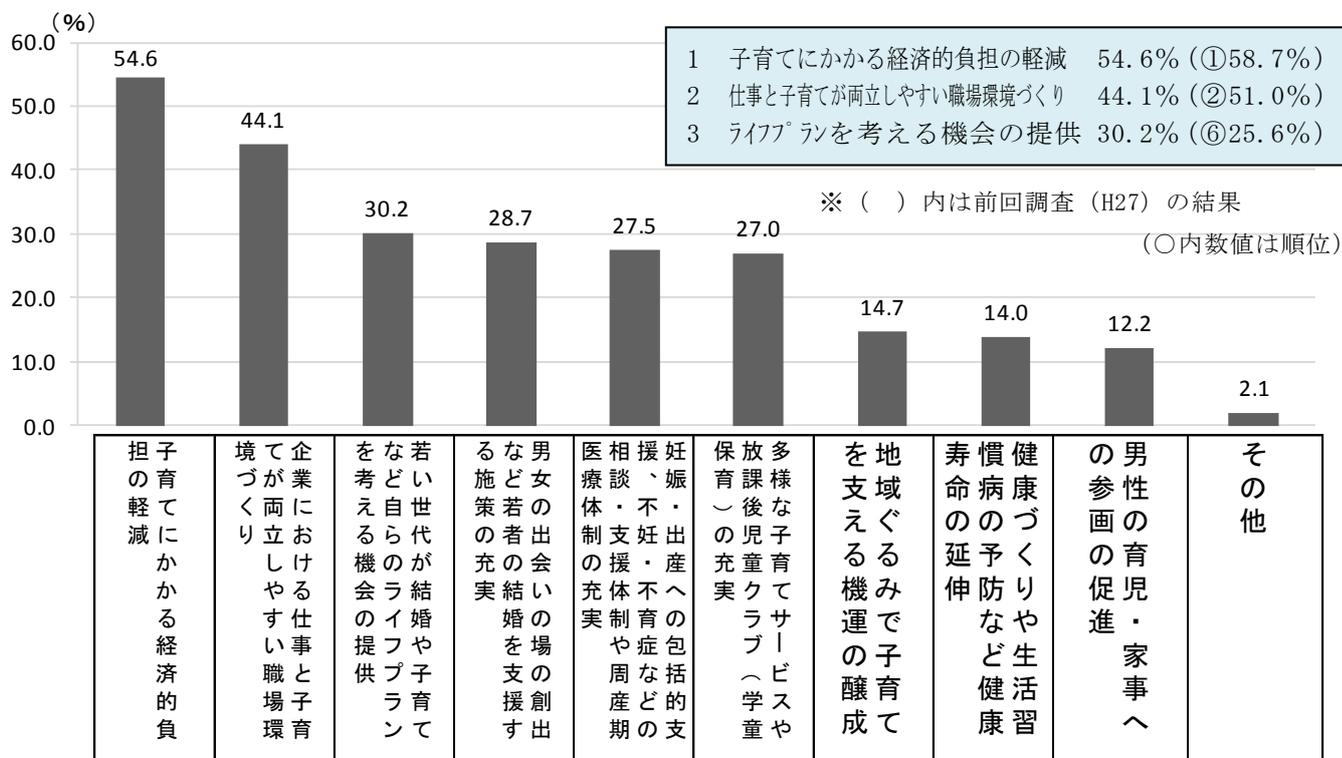
(1) 地方創生を進めるにあたって、重点を置くべき施策について（新規設問）
 （複数回答：5つ以内）

・『結婚から子育てまで切れ目のない支援による少子化対策の推進』が約5割になっている。



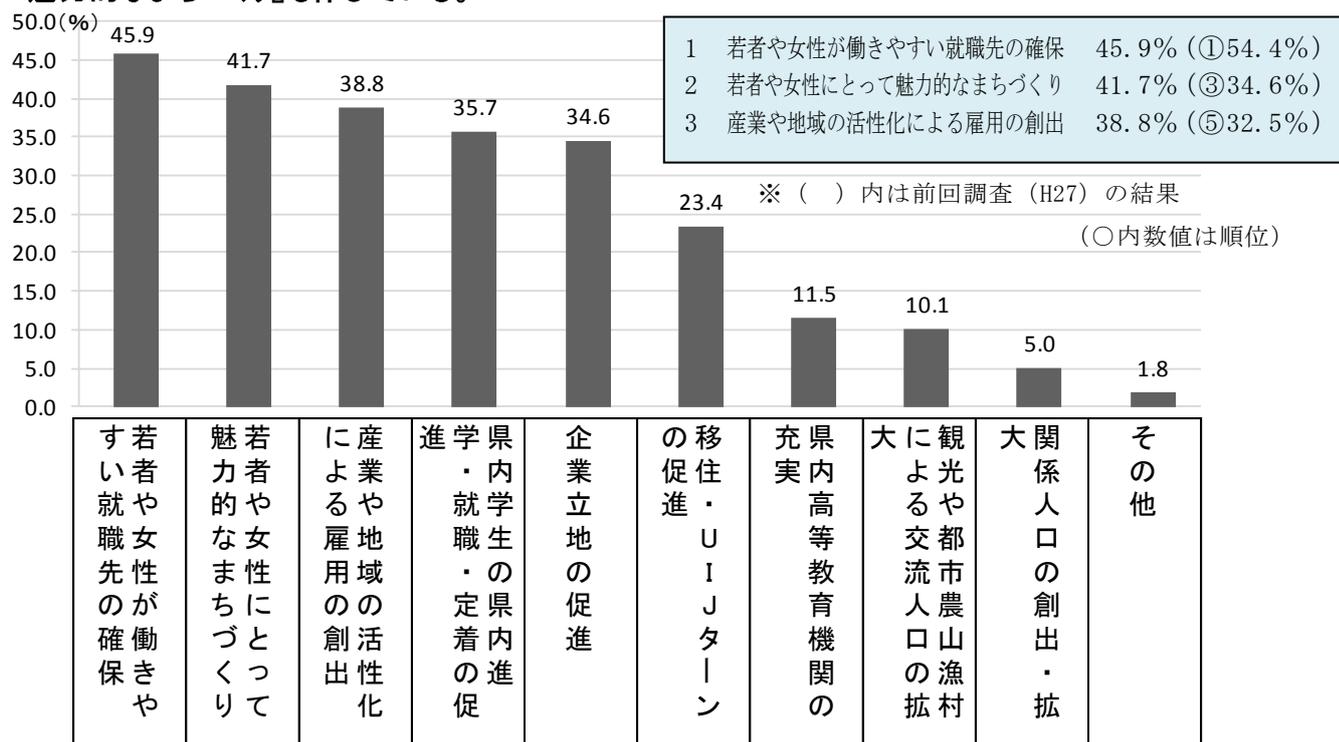
(2) 人口減少対策として、自然動態の観点から重点を置くべき施策について
(複数回答：3つ以内)

・上位2項目は、前回同様『子育てにかかる経済的負担の軽減』、『仕事と子育てが両立しやすい職場環境づくり』となっている。



(3) 人口減少対策として、社会動態の観点から重点をおくべき施策について
(複数回答：3つ以内)

・『若者や女性が働きやすい就職先の確保』が前回同様1位となっているが、2位の『若者や女性にとって魅力的なまちづくり』も伸びている。

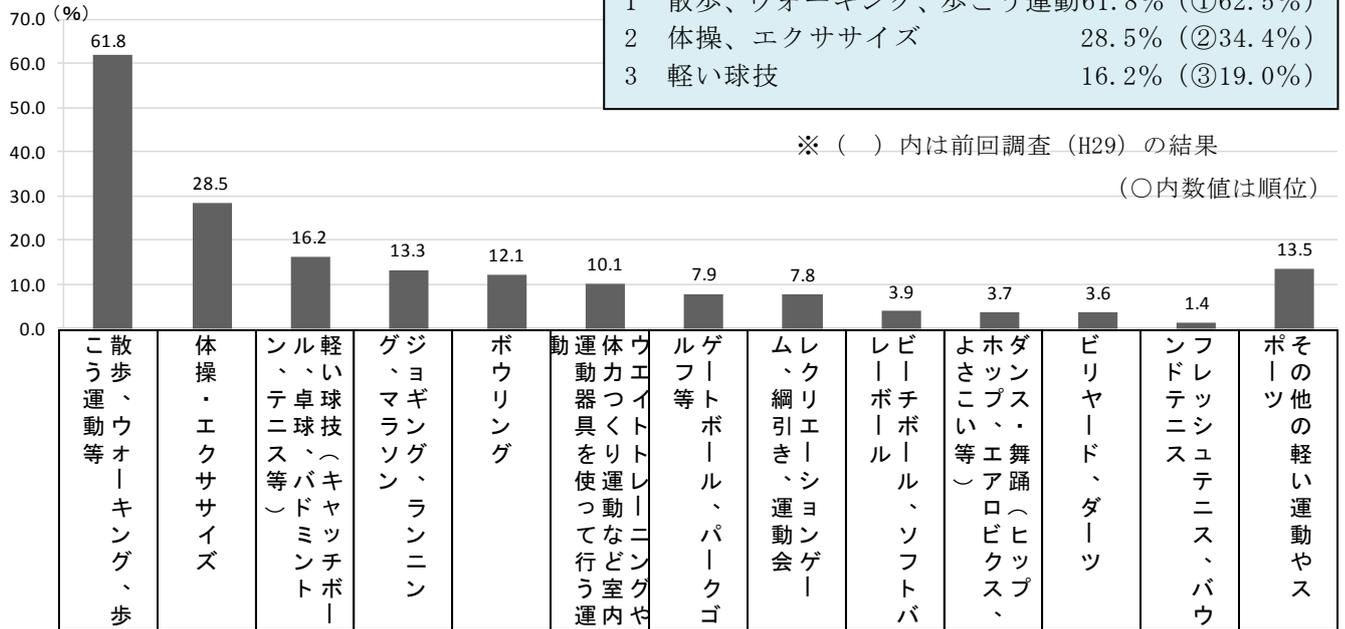


6 体力づくりについて

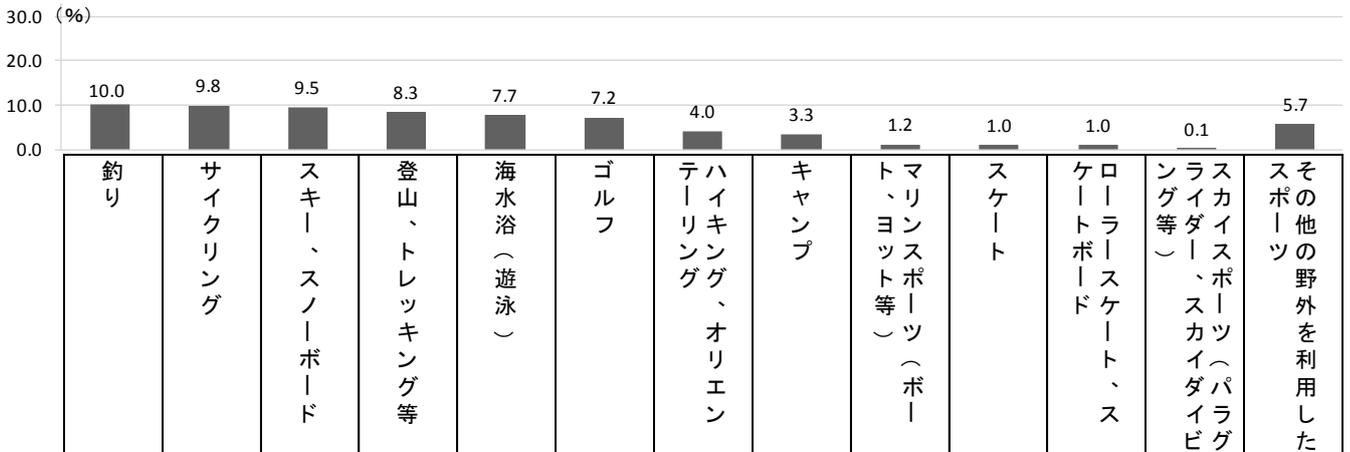
(1) 1年間に行った運動やスポーツについて（複数回答：いくつでも）

前回同様、『散歩・ウォーキング、歩こう運動』、『体操・エクササイズ』が上位となっている。

【軽い運動・スポーツ】



【野外を利用したスポーツ】

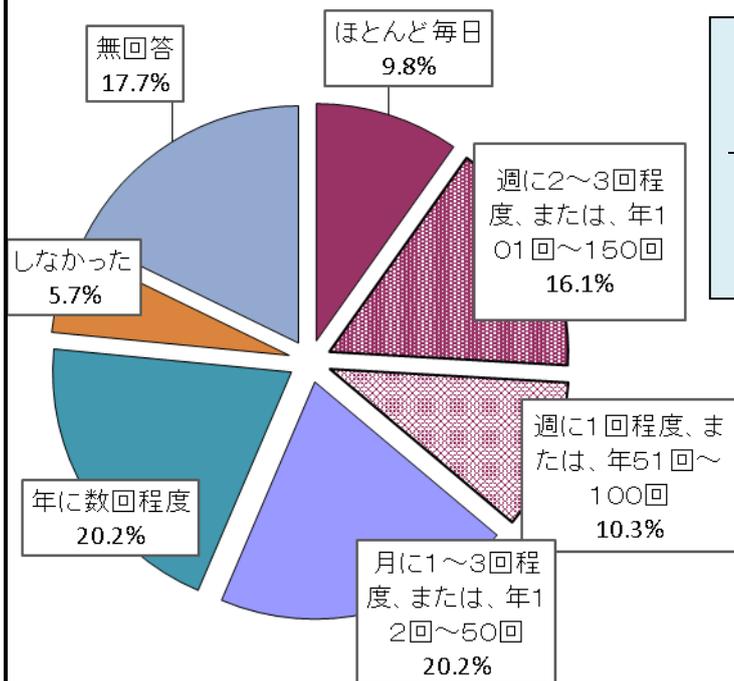


【競技的スポーツ】



(2) 運動やスポーツを行った回数について (単一回答)

・週に1回以上運動している方が約4割となっている。



・ほとんど毎日	9.8% (8.8%)
・週に2~3回程度、または、年101回~150回	16.1% (16.8%)
・週に1回程度、または、年51回~100回	10.3% (13.6%)
小計	36.2% (39.2%)
・月に1~3回程度、または、年12回~50回	20.2% (19.0%)
・年に数回程度	20.2% (20.7%)

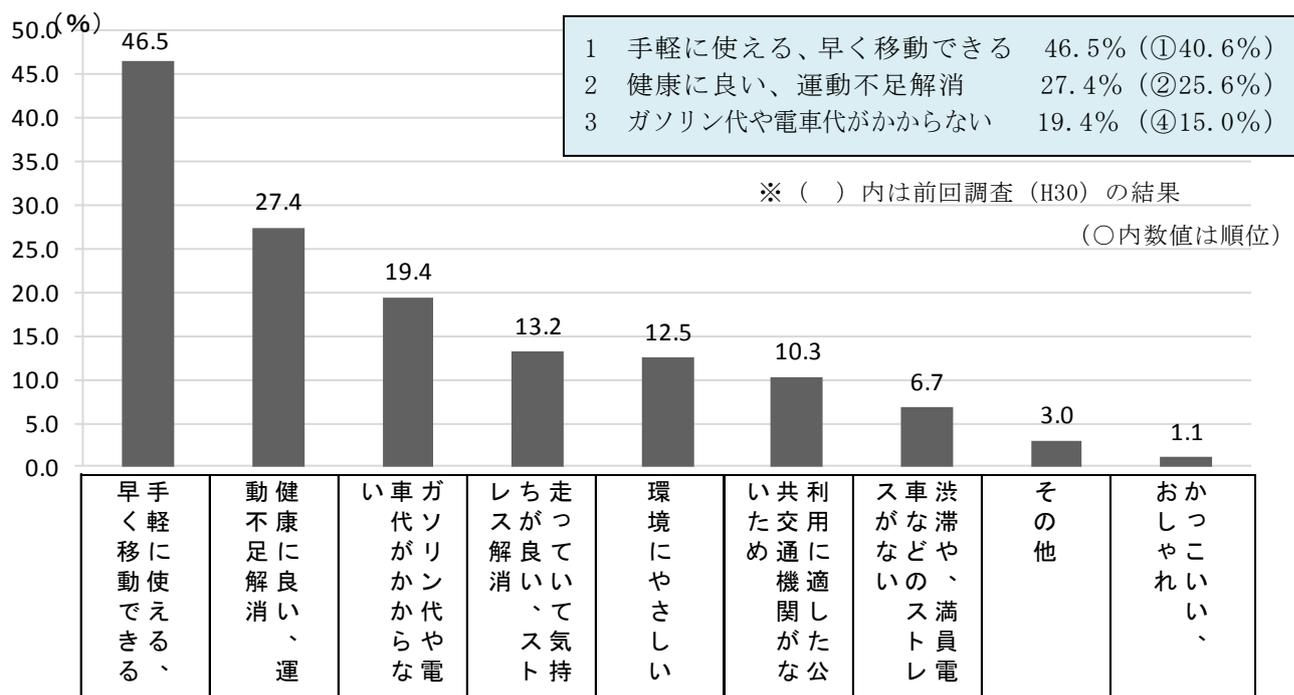
※ () 内は前回調査 (H29) の結果

(○内数値は順位)

7 自転車の利用について

自転車に乗る目的について (複数回答: いくつでも)

・『手軽に使える、早く移動できる』が5割近くになっている。



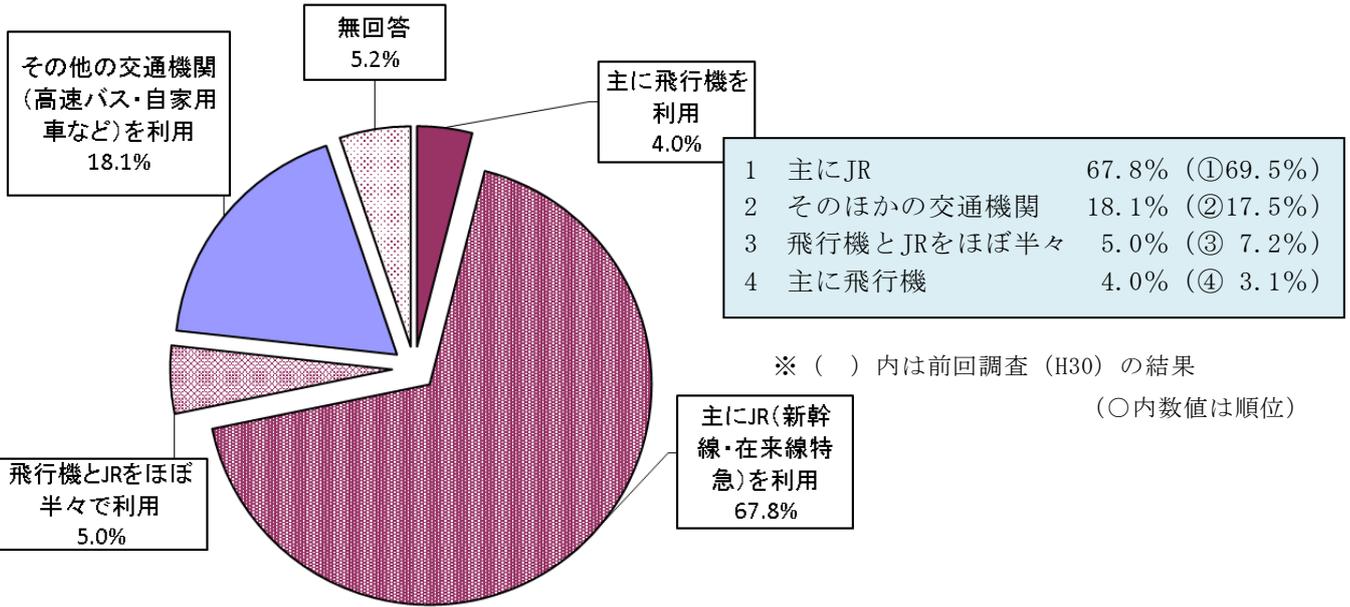
※ () 内は前回調査 (H30) の結果

(○内数値は順位)

8 富山きときと空港の利用促進について

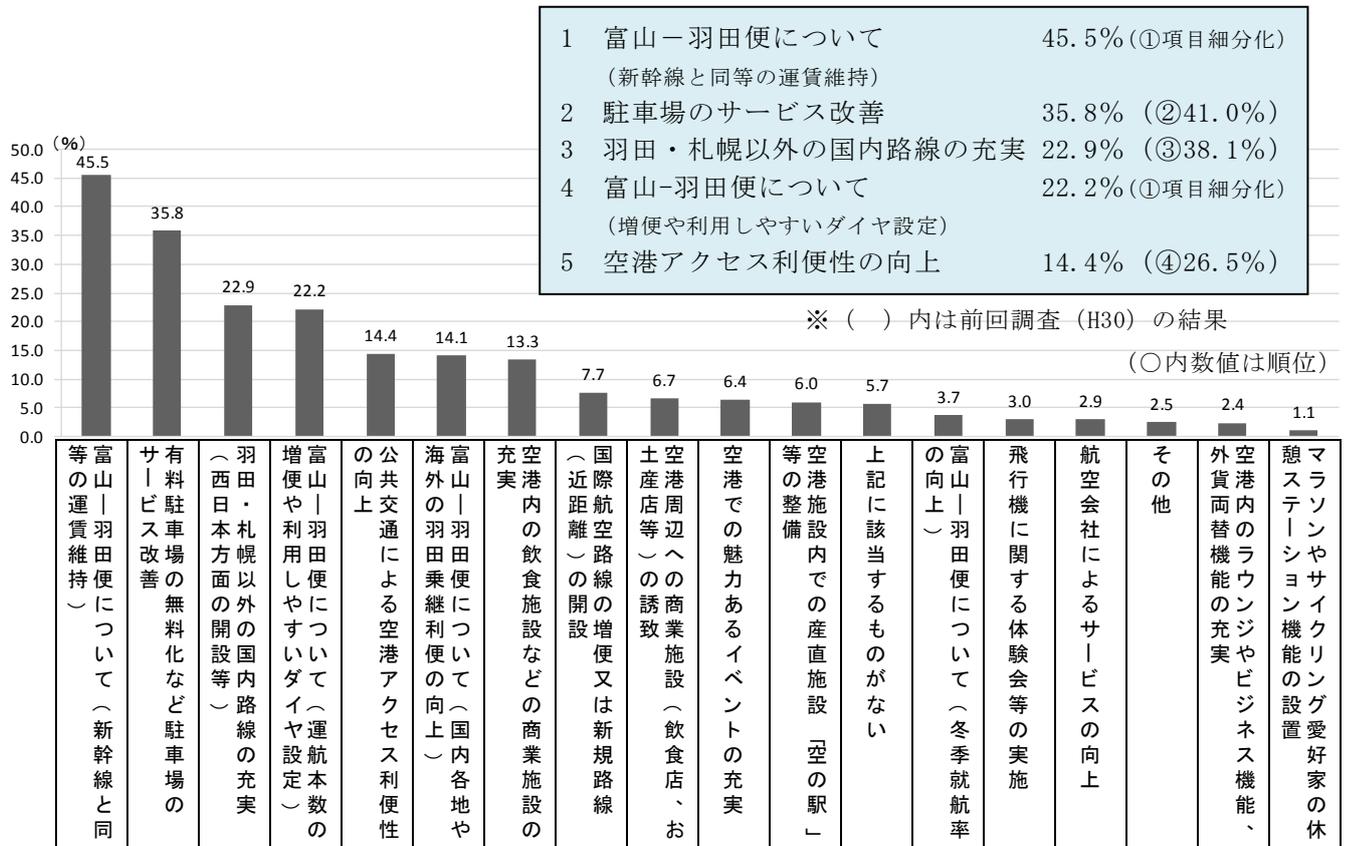
(1) 東京や首都圏方面に出かける場合の交通手段について (単一回答)

・前回同様、『主にJRを利用』が約7割となっている。



(2) 空港利用を増やすためのサービスについて (複数回答: 3つ以内)

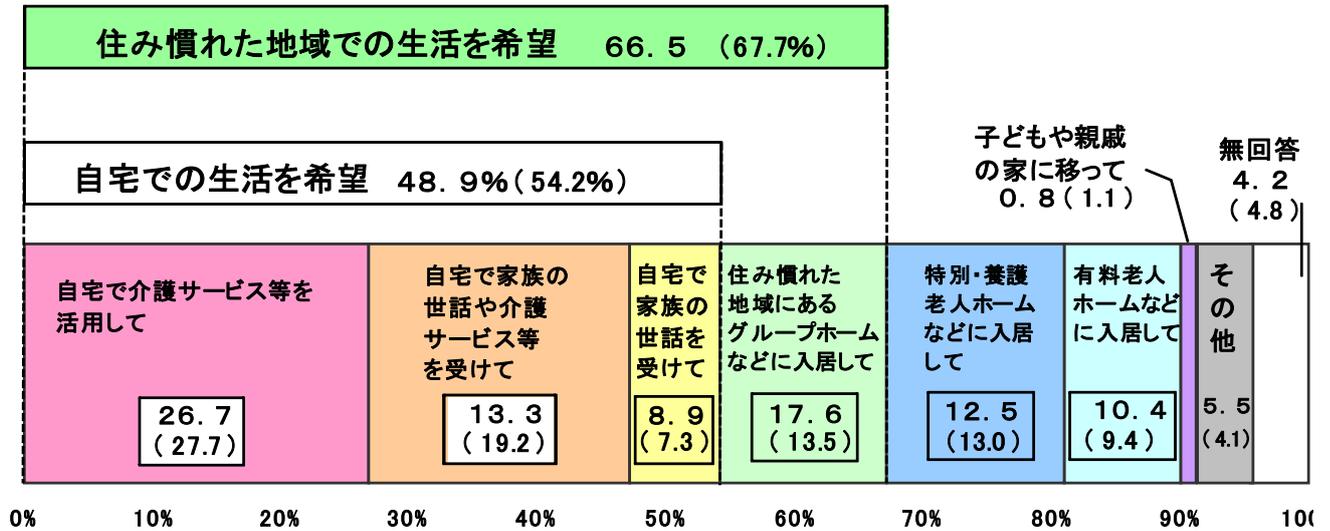
・『富山-羽田便について(新幹線と同等の運賃維持)』、『駐車場のサービス改善』が上位となった。



9 福祉施策の充実について

(1) 介護が必要になった場合に望む生活について (単一回答)

・7割近くの方が住み慣れた地域での生活を希望し、約5割の方が自宅での生活を希望している。

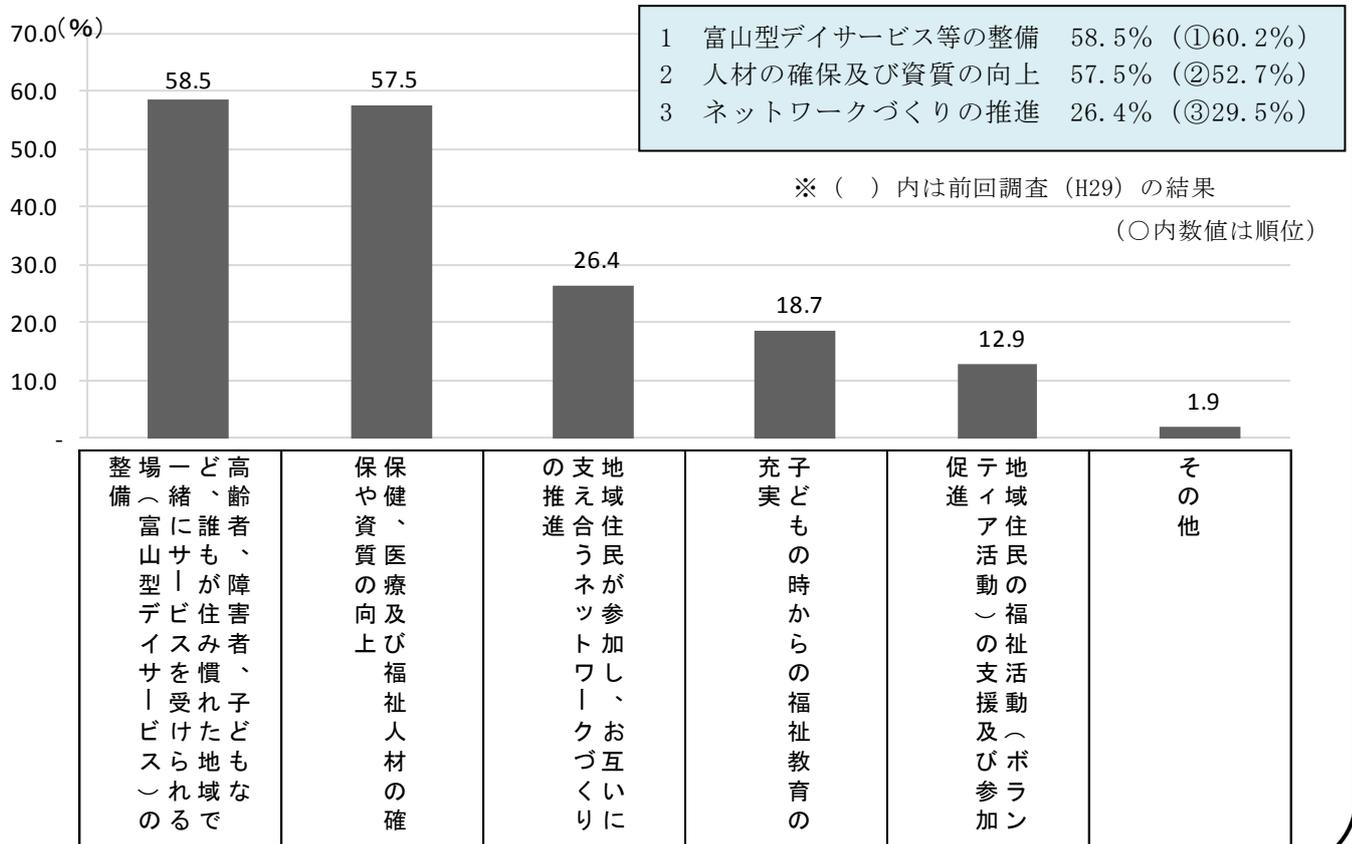


※ () 内は前回調査 (H29) の結果

(2) 住み慣れた地域で安心して生活するため取り組むべき課題について

(複数回答: 2つまで) ((1)で「住み慣れた地域での生活を希望された方」が対象)

・前回同様、『富山型デイサービスの整備』『保健、医療及び福祉人材の確保や資質の向上』が5割を超えている。



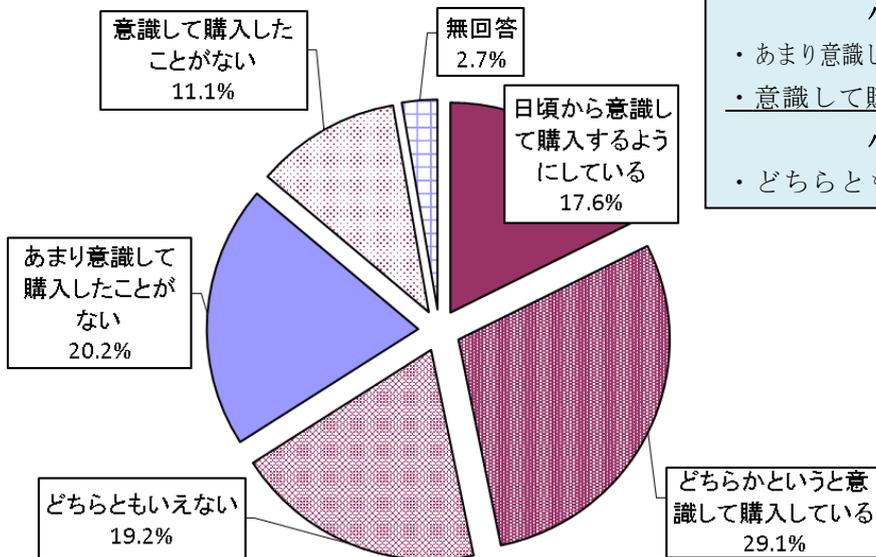
※ () 内は前回調査 (H29) の結果

(○内数値は順位)

10 地産地消について

(1) 県産の農林水産物の購入について（単一回答）

・『日頃から意識して購入するようにしている』と『どちらかという意識して購入している』を合わせて、約5割となっている。



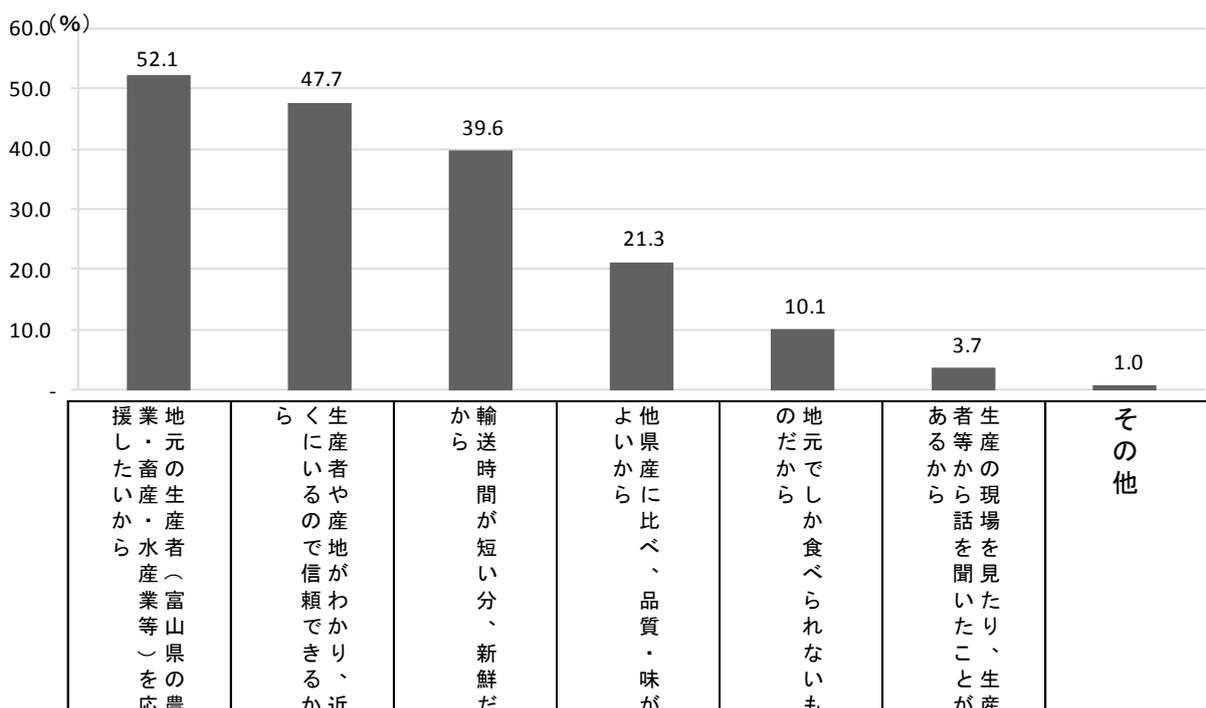
・日頃から意識して購入する	17.6%	(25.3%)
・どちらかという意識して購入する	29.1%	(35.2%)
小計	46.7%	(60.1%)
・あまり意識して購入したことがない	20.2%	(16.7%)
・意識して購入したことがない	11.1%	(4.6%)
小計	31.3%	(21.3%)
・どちらともいえない	19.2%	(17.0%)

※（ ）内は前回調査（H26）の結果

(2) 県産のものを意識して購入する理由について（新規設問）（複数回答：2つ以内）

（(1)で「日頃から意識して購入するようにしている」「どちらかという意識して購入している」を選んだ方が対象）

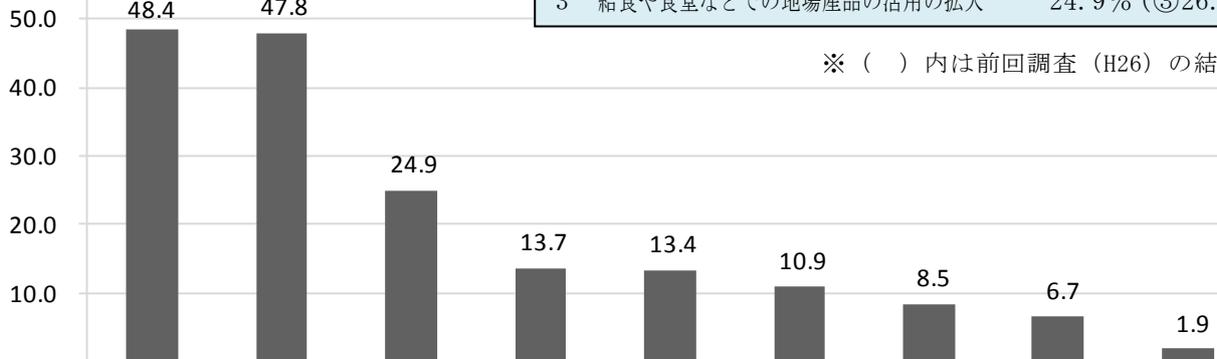
・『地元の生産者を応援したい』と『生産や産地がわかり、近くにいるので信頼できる』が、それぞれ約5割となっている。



(3) 地産地消を進めるために必要なことについて (複数回答: 2つ以内)

・『地場産品の生産を増やし、店舗での品揃えを充実する』、『直売所やスーパーの産直コーナーを増やす』が約5割となっている。

60.0(%)



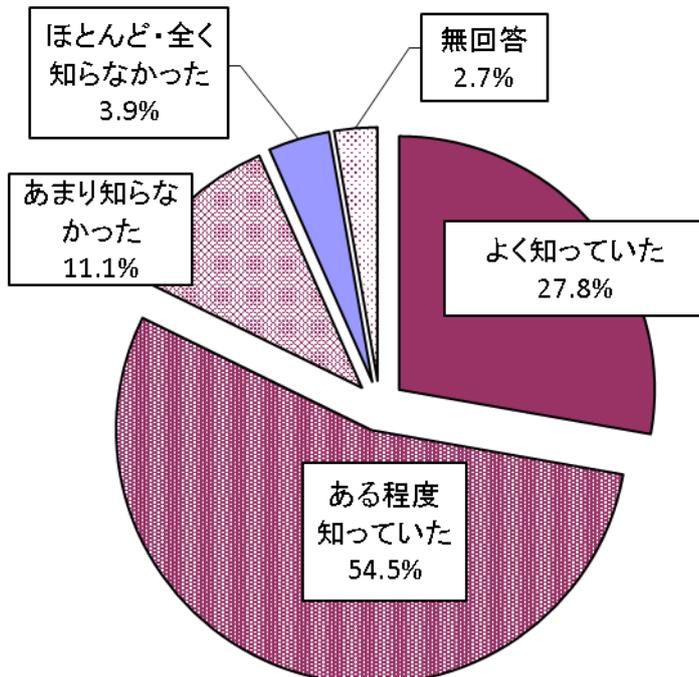
※ () 内は前回調査 (H26) の結果

直売所やスーパーの産直コーナーを増やす	店舗での品揃えを充実する、地場産品の生産を増やし、	大等校の給食や社員食堂、飲食	進める購入するよう意識して地場産品を	県民が意識するよう意識して地場産品を	栽培を拡大する肥料を減らした	農薬や化学肥料を減らした	充実する安全・安心の履歴の取組みを	ど産物の生産履歴の開示な	るインターネットやイベント	る生産者と消費者とが交流する機会を増やす	その他
---------------------	---------------------------	----------------	--------------------	--------------------	----------------	--------------	-------------------	--------------	---------------	----------------------	-----

11 食品ロスの削減について

(1) 食品ロスの認知度について (単一回答)

・食品ロスが問題となっていることを知っている割合が8割を超え、前年度から大きく伸びた。



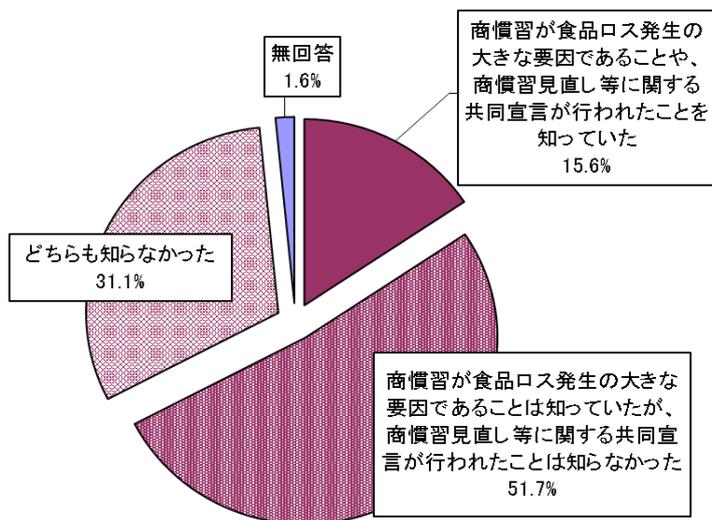
よく知っていた	27.8%	(18.4%)
ある程度知っていた	54.5%	(52.9%)
小計	82.3%	(71.3%)
あまり知らなかった	11.1%	(17.2%)
ほとんど・全く知らなかった	3.9%	(8.8%)
小計	15.0%	(26.0%)

※ () 内は前回調査 (H30) の結果

(2) 商慣習が食品ロス発生の大きな要因であることや、商慣習の見直しに関する共同宣言が行われたことを知っていたかについて（新規設問）（単一回答）

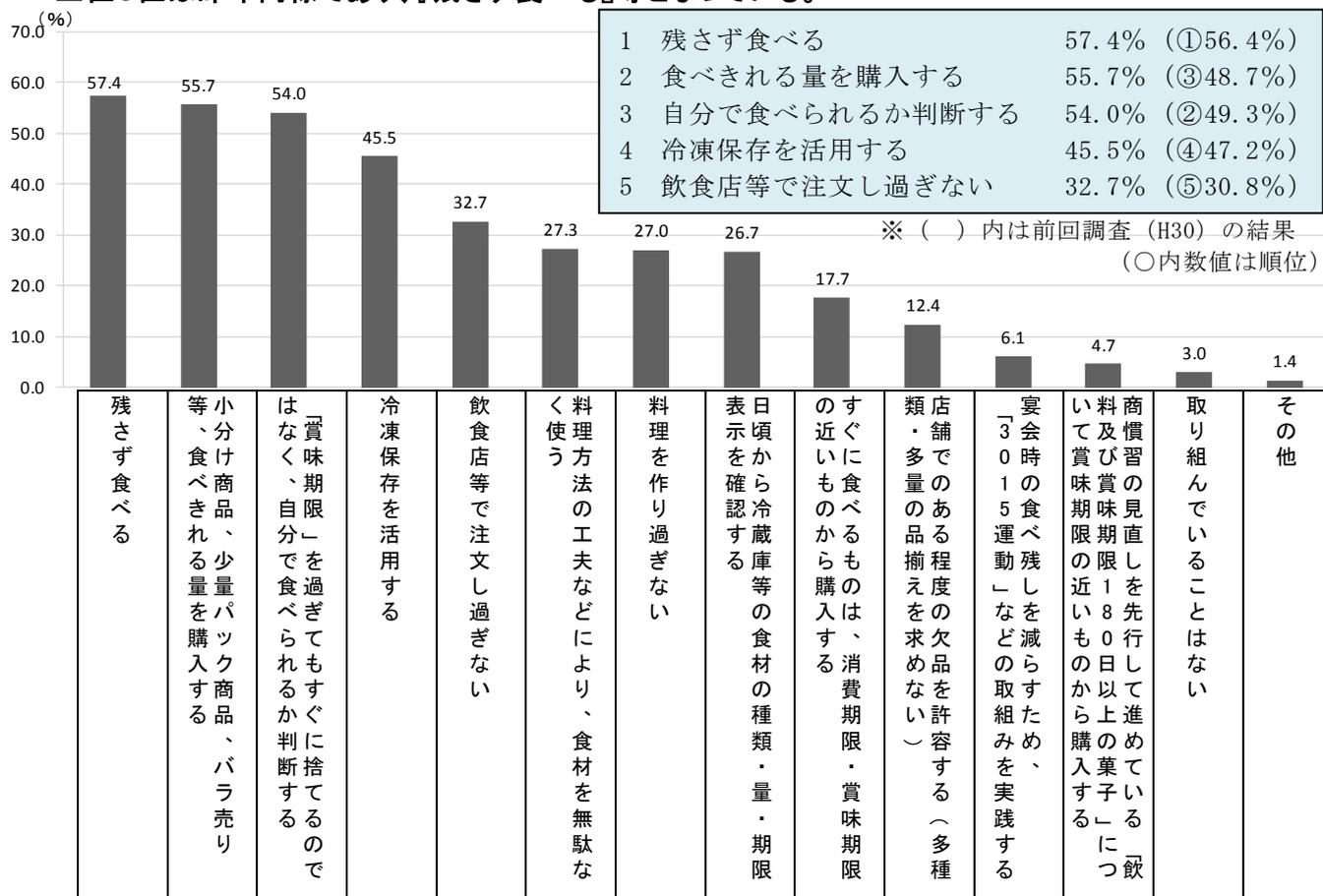
((1)で「よく知っていた」「ある程度知っていた」を選んだ人が対象)

・『商慣習が食品ロス発生の大きな要因であること』は約7割、『商慣習の見直し等に関する共同宣言』については、約16%が知っている旨回答した。



(3) 食品ロスを減らすために取り組んでいることについて（複数回答：いくつでも）

・上位5位は昨年同様であり、『残さず食べる』等となっている。



※ 「3015 (さんまるいちご) 運動」とは、立山の標高3015mにちなみ、「30」と「15」をキーワードにした富山型の食品ロス削減運動。

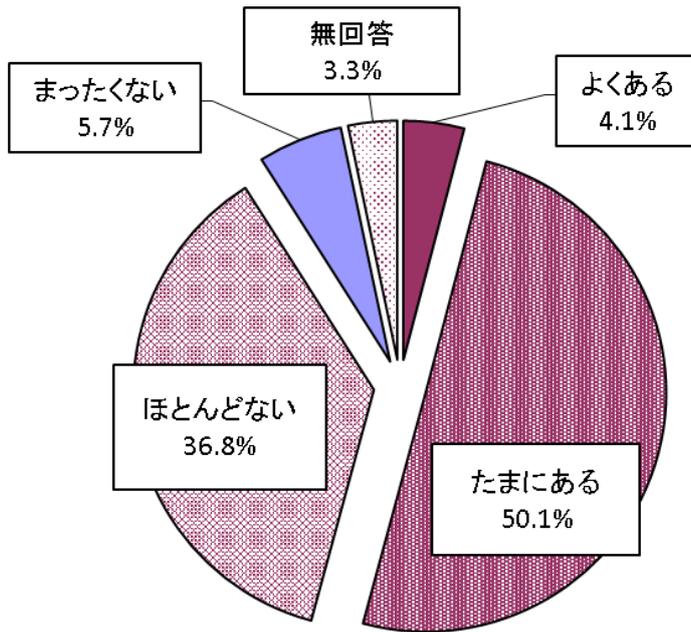
〔食べきり3015運動〕：宴会時において、開演後30分と終了前15分に自席で料理を楽しむ時間を設定し、食べきる運動。

〔使いきり3015運動〕：毎月30日と15日に家庭の冷蔵庫等をチェックし、食材を使い切る運動。

12 犯罪の予防について

(1) 犯罪被害に不安を感じるかどうかについて（単一回答）

・『よくある』・『たまにある』の回答が前回より増加し、5割超となっている。



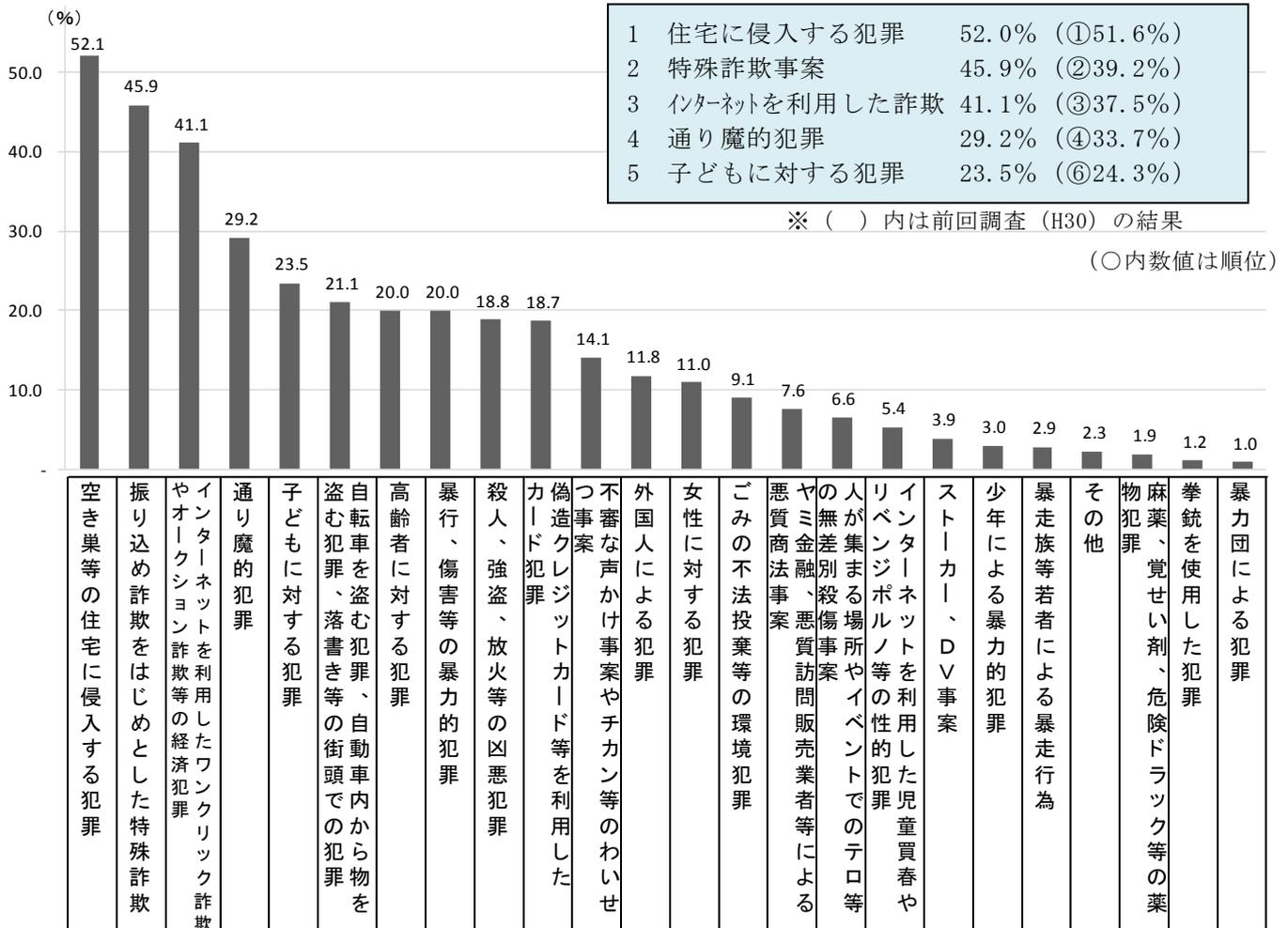
・よくある	4.1%	(4.8%)
・たまにある	50.1%	(45.1%)
小計	54.2%	(49.9%)
・ほとんどない	36.8%	(39.1%)
・まったくない	5.7%	(7.5%)
小計	42.5%	(46.6%)

※ () 内は前回調査 (H30) の結果

(2) どのような犯罪に不安を感じるかについて（複数回答：5つ以内）

((1)で『よくある』、『たまにある』を選んだ人が対象)

・上位は前回同様となっているが、『特殊詐欺事案』の割合が伸びている。



※ () 内は前回調査 (H30) の結果

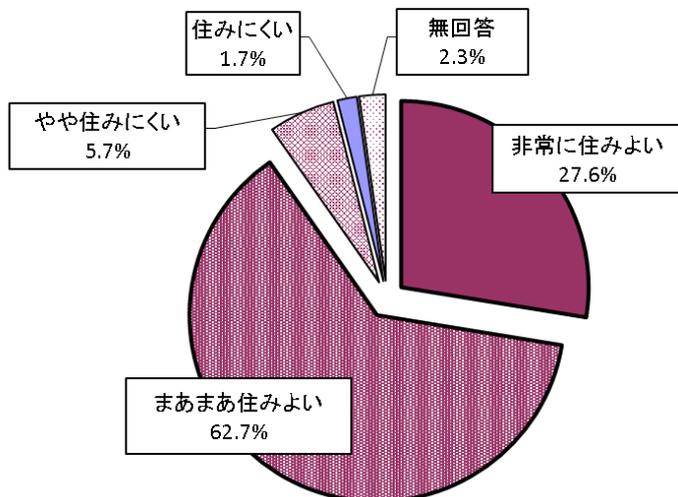
(○内数値は順位)

13 意識調査について

<幸福度に関する設問>

(1) 富山県の住みよさについて (単一回答)

・『非常に住みよい』『まあまあ住みよい』をあわせ、9割以上の方が『住みよい』と回答している。

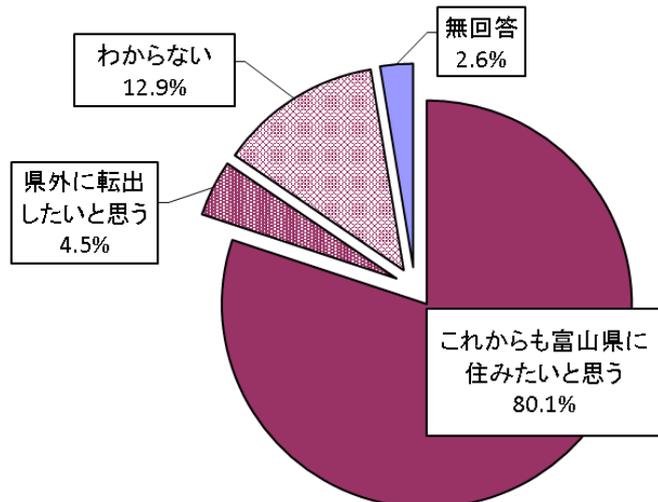


・非常に住みよい	27.6%	(29.0%)
・まあまあ住みよい	62.7%	(63.0%)
小計	90.3%	(92.0%)
・やや住みにくい	5.7%	(5.0%)
・住みにくい	1.7%	(1.4%)
小計	7.4%	(6.4%)

※ () 内は前回調査 (H30) の結果

(2) 『これからも富山県に住みたいか』について (単一回答)

・昨年から更に増え、8割以上の方が『これからも住みたい』と感じている。



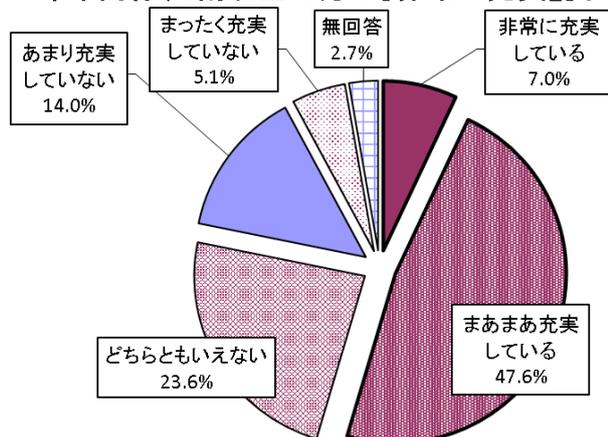
・これからも富山県に住みたいと思う	80.1%	(79.1%)
・県外に転出したいと思う	4.5%	(4.1%)
・わからない	12.9%	(15.1%)

※ () 内は前回調査 (H30) の結果

(3) 仕事の充実感 (満足感) について (注 本人職業が無職、学生等の方を除く)

(単一回答)

・昨年同様、5割以上の方が『非常に充実』『まあまあ充実』と感じている。

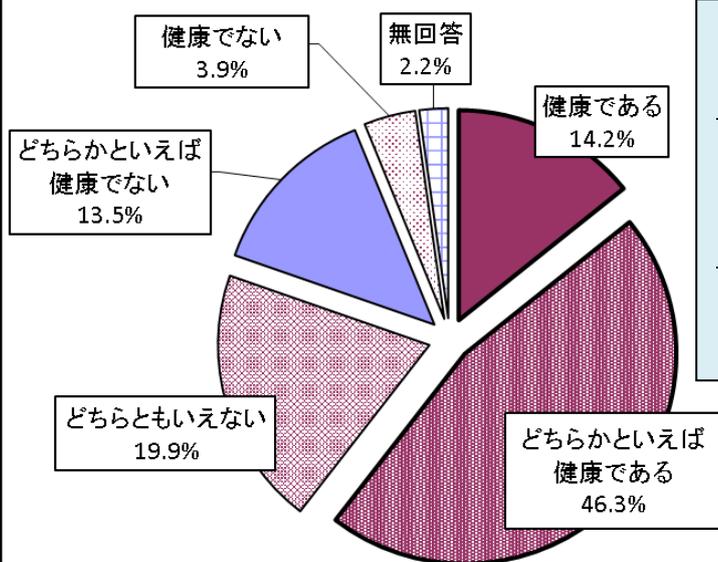


・非常に充実している	7.0%	(7.8%)
・まあまあ充実している	47.6%	(48.6%)
小計	54.6%	(56.4%)
・あまり充実していない	14.0%	(10.7%)
・まったく充実していない	5.1%	(5.6%)
小計	19.1%	(16.3%)
・どちらともいえない	23.6%	(25.0%)

※ () 内は前回調査 (H30) の結果

(4) 自分の健康状態について (単一回答)

・約6割の方が『健康』『どちらかといえば健康』と回答している。



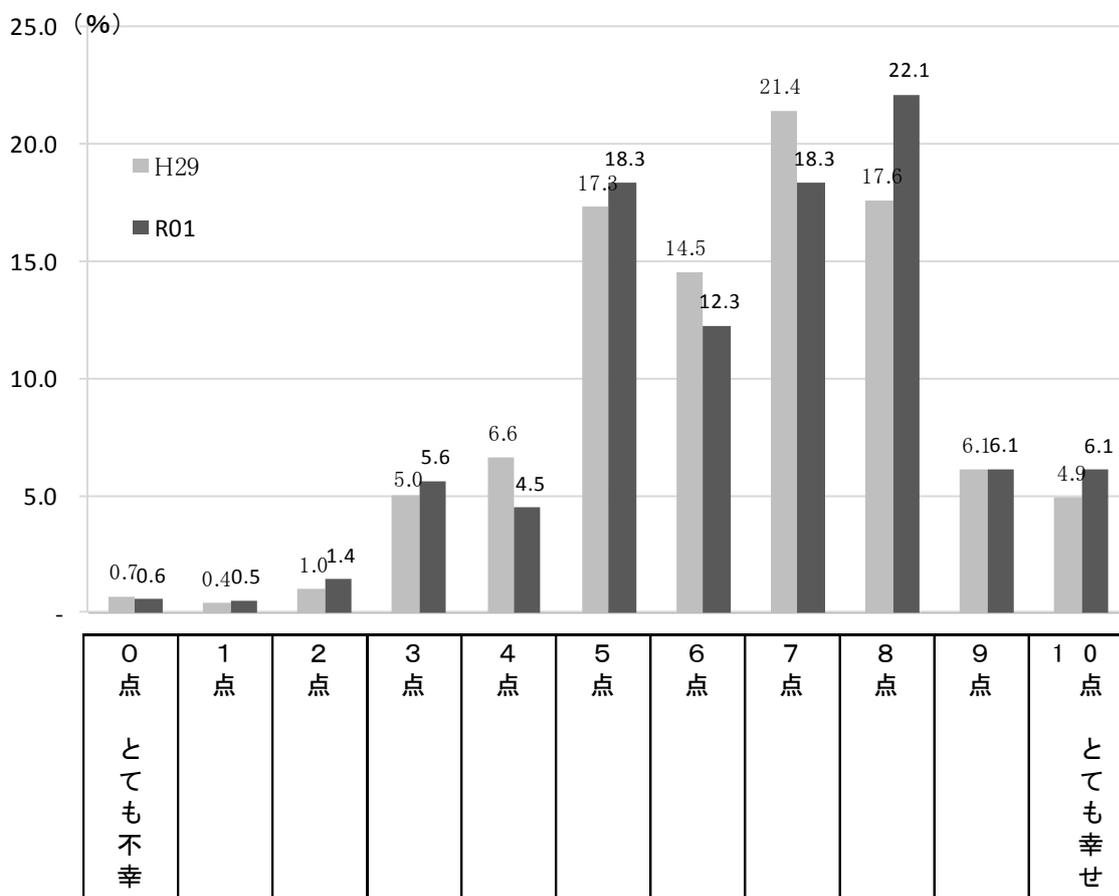
・健康である	14.2%	(15.7%)
・どちらかといえば健康である	46.3%	(47.1%)
小計	60.5%	(62.8%)
・どちらかといえば健康でない	13.5%	(11.5%)
・健康でない	3.9%	(3.7%)
小計	17.4%	(15.2%)
・どちらともいえない	19.9%	(20.4%)

※ () 内は前回調査 (H30) の結果

(5) 幸福感について (単一回答)

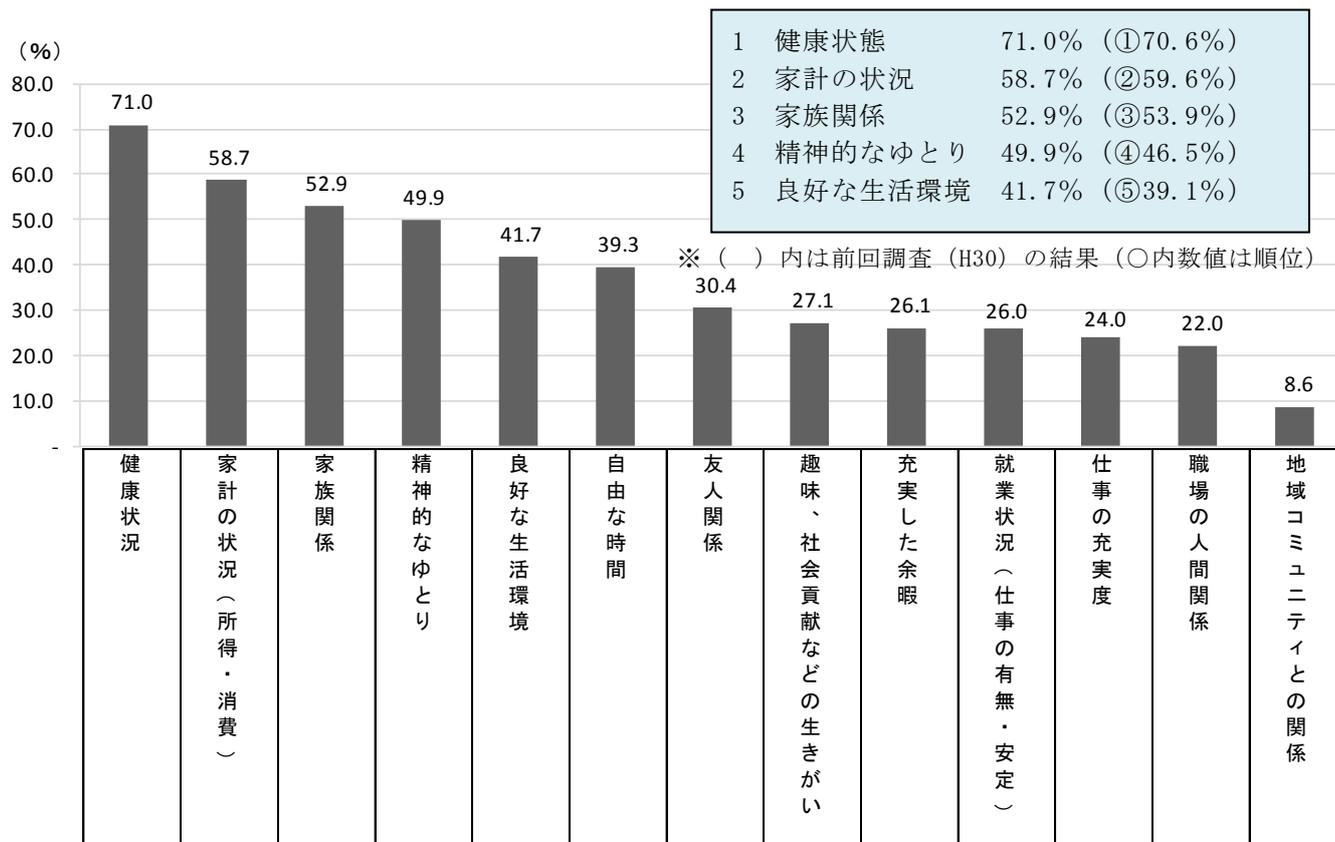
・前回同様、5点～8点を選択した方が多い。(約7割の方が選択)

・平均点は6.51点で、前々回(6.38点)、前回(6.41点)と上昇している。



(6) 幸福感の判断の際に重視するものについて（複数回答：いくつでも）

・上位5位は前回同様であり、『健康状態』、『家計の状況』、『家族関係』等となっている。



< 県民参考指標（総合計画において参考とする指標）に係る設問 >

(7) 県内には、自然、歴史、文化、特産品など多くの魅力や地域資源がありますが、県外の知人、友人等に自信をもって紹介したり、奨めたりできるものがありますか。

たくさんある	19.4% (22.1%)
少しはある	68.9% (65.1%)
ない	8.5% (8.5%)

※ () 内は前回調査 (H30) の結果

(8) あなたは、県内において、音楽や演劇、美術など芸術文化に親しむ機会が充足されていると思いますか。

十分に充足されている	1.6% (3.5%)
ある程度充足されている	34.4% (39.0%)
あまり充足されていない	37.5% (30.7%)
まったく充足されていない	7.9% (5.9%)
わからない	15.6% (17.5%)

※ () 内は前回調査 (H30) の結果

(9) 最近の家庭は、しつけや望ましい生活習慣づくりなど、子どもの教育において、役割を果たしていると思いますか。

十分に果たしている	1.8% (1.9%)
ある程度果たしている	37.1% (35.8%)
あまり果たしていない	35.0% (35.9%)
まったく果たしていない	5.4% (5.0%)
わからない	16.9% (17.2%)

※ () 内は前回調査 (H30) の結果

(10) あなたは、過去1年間に、生涯学習を行ったことがありますか。

ある	27.1% (30.0%)
ない	69.1% (63.3%)

※ () 内は前回調査 (H30) の結果

(11) あなたが住んでいる地域の活動に参加していますか。

積極的に参加している	9.2% (10.6%)
ときどき参加している	47.5% (46.6%)
参加していないが、今後は参加したい	19.3% (18.2%)
参加していないし、今後も参加したくない	20.5% (20.9%)

※ () 内は前回調査 (H30) の結果